

# 広島県名勝 として 常清滝

## 常清滝

昭和56年10月 日本観光地百選国民投票準入选  
昭和56年8月 県名勝指定  
昭和50年3月 県自然環境保全地域指定  
平成2年4月 日本の滝100選入選  
平成3年1月 21世紀に残す日本の風景遺産100選

中生代白亜紀の中期に噴出した流紋岩の断崖にかかり、高さは126mにもおよび、名瀑として知られる日光の華厳滝や熊野の那智滝の高さにも匹敵します。

瀑水は三段におかれ、上が荒波(36m)、中が白糸(69m)、下が玉水(21m)と名づけられています。

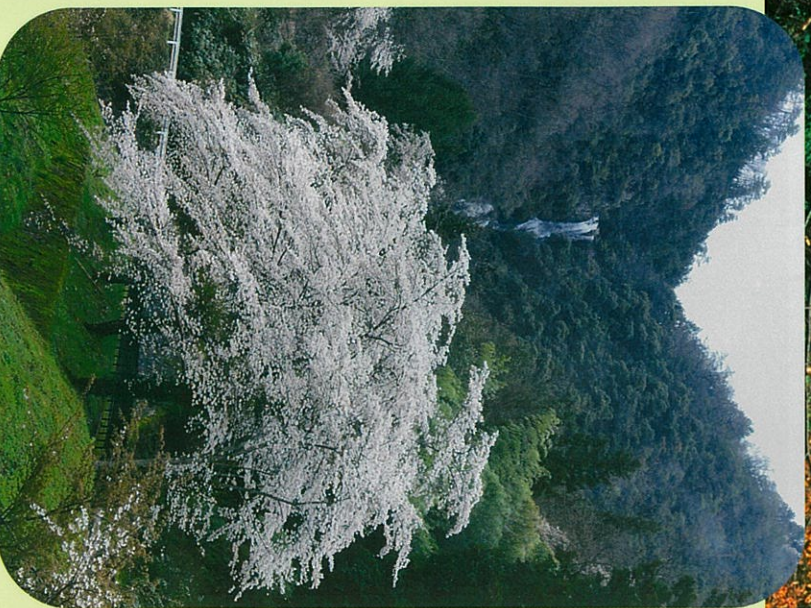
周囲の植生は深山性の要素に富み、滝壺下流の兩岸は、ケヤキを主とする森林で、滝の兩岸の絶壁は、アラカン、ウラボシカシを主とする常緑広葉樹林で構成されています。

滝の上流の河床は、トチ、アサカサミズキを主とした川床高木林を呈しており、斜面は、アハスギ、コナラを主とした落葉広葉樹林に常緑広葉樹が混在し、春の新緑、夏の涼風、秋の紅葉、冬の厳しい凍結と四季折々に賑わいがあります。

また溪谷一帯は、テン、ムササビなどの山地森林性の哺乳類、オオカミ、ヤマセメの鳥類、カゲロウ類の水生昆虫などによって構成されています。



## 常清滝の四季



展望台

山村広場

約30台駐車可能  
ここから滝まで約15分

日本の滝百選 名勝 常清滝(126m)  
駐車場へ車で徒歩15分  
展望台からの眺め